

# 『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』の概要



# 1. 目的

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進

⇒認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現を推進



## 2. 認知症施策推進本部

- ▶ 内閣に内閣総理大臣を本部長とする認知症施策推進本部を設置。
- ▶ 基本計画の案の作成、実施の推進等をつかさどる。

※認知症施策推進基本計画の策定に当たっては、本部に認知症の人及び家族等により構成される関係者会議を設置し、意見を聴く。（義務付け）



都道府県・市町村は、それぞれ都道府県計画・市町村計画を認知症の人及び家族等の意見を聴いたうえで策定（努力義務）

### 3. 基本的施策



- ① 認知症の人に関する国民の理解の増進等
- ② 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進
- ③ 認知症の人の社会参加の機会の確保等
- ④ 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護

### 3. 基本的施策

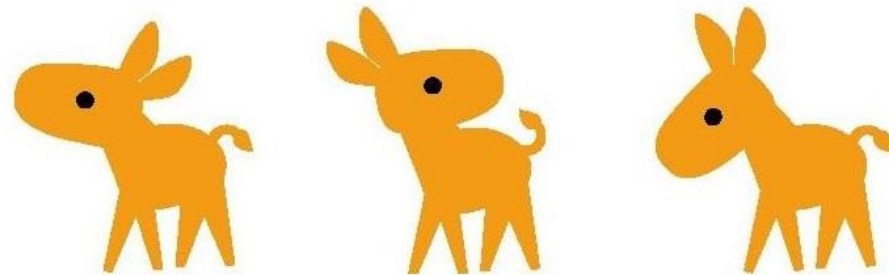
- ⑤保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等
- ⑥相談体制の整備等
- ⑦研究等の推進等
- ⑧認知症の予防等



## 4. 認知症の日及び認知症月間



# 令和5年度 認知症総合支援事業について



# 今年度の重点目標

1. 認知症の人の早期発見と早期支援、  
本人のニーズ把握、  
医療・介護の連携による切れ目ない支援体制  
(認知症初期集中支援チーム)の強化
2. 認知症の正しい知識の普及啓発
3. 認知症サポーターを中心とした本人・家族の  
ニーズと支援をつなぐ仕組みの整備  
(チームオレンジの構築)



1. 認知症の人の早期発見と早期支援、本人のニーズ把握、  
医療・介護の連携による切れ目ない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化

【取組内容①】

認知症地域支援推進員を中心とした本人支援

**推進員**を地域包括支援センターへ5名配置

（専任1名（保健師）＋兼務4名（社会福祉士・主任介護支援専門員）

今年度新たに2名（保健師）が認知症地域支援推進員研修を受講予定

⇒支援が必要な認知症の人を早期に把握し、支援に繋げる

本人の気持ちや意見をしっかりと聴く（ニーズの把握）

※**認知症地域支援推進員**とは

認知症の人の状態に応じて必要なサービスが適切に提供されるように、  
医療機関や介護サービス、地域の支援機関の間の連携支援や、認知症の  
人やその家族を対象とした相談業務などを行う者

# 1. 認知症の人の早期発見と早期支援、本人のニーズ把握、医療・介護の連携による切れ目ない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化

## 【取組内容②】

### 認知症初期集中支援チームの強化

認知症サポート医 3名

認知症初期集中支援チーム員（研修受講者）

4名（医療職：2名、福祉職2名）

**今年度新たに2名受講予定（医療職1名、福祉職1名）**

令和4年度 対応ケース 1件

⇒相談があったときにタイムリーに支援できる

ように体制整備を行う

認知症初期集中支援チーム員連絡会議を実施し、  
認知症サポート医との連携を図る。

認知症になっても、安心して生活できるように

## 高梁市認知症



## 初期集中支援チーム

があなたとご家族をサポートします！

### ＊ 認知症初期集中チームとは？

認知症またはもの忘れ等が気になる方やそのご家族の家庭を、チーム員が訪問して必要に応じたサポートを行ないます。具体的には、認知症に関する情報の提供や必要に応じて医療機関の受診や介護保険サービスなどの利用につなぐための支援を行います。

### ＊ チーム員とは？

認知症のサポート医や専門知識をもつ保健師、社会福祉士、介護福祉士などの専門職で構成しています。



### ＊ 対象となる方は？

高梁市民で、自宅で生活されており、かつ認知症の方やもの忘れが気になる方で、次の①～③のいずれかに該当する方。

- ①認知症の診断を受けていない方、または治療を中断している方
- ②介護保険サービスを利用していない方、または利用を中断している方
- ③何らかのサービスは利用しているが、認知症による症状が強く、どのように対応したら良いのか困っている方

### まずはご相談を！



★高梁・有漢地域 高梁市地域包括支援センター		0866-21-0300
★成羽地域 成羽ステーション		0866-42-3211
★川上地域 川上ステーション		0866-48-2200
★備中地域 備中ステーション		0866-45-2211

## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容①】

9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

令和4年度

#### 認知症理解推進キャンペーンの開催

のぼりの設置、パネル展示・相談会の実施  
行政放送番組の制作と放送

図書館・図書室での認知症を知るフェア、  
啓発ポスター・啓発ステッカーの掲示、  
オレンジガーデニングプロジェクトの実施  
一般向け認知症サポーター養成講座の開催 等



令和5年度

- ・ 認知症理解啓発活動の継続実施  
イズミ・ポルカでの街頭啓発活動を実施予定  
(9月5日イズミ・9月13日ポルカ)
- ・ 企業に向けての認知症サポーター養成講座の  
受講勧奨



## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容①】

9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

### オレンジガーデニングプロジェクト

- ・ 認知症施策検討委員会委員
- ・ キャラバン・メイト
- ・ 認知症サポーター
- ・ 認知症カフェ運営団体
- ・ 市内グループホーム
- ・ チームオレンジ
- ・ 地域包括支援センター運営協議会委員



## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容①】

9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

認知症理解普及啓発ポロシャツ

### 協力依頼

- ・ 認知症施策検討委員会委員
- ・ キャラバン・メイト
- ・ 認知症カフェ運営団体
- ・ 市内居宅介護支援事業所
- ・ 市役所職員
- ・ 社会福祉協議会



## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容①】

9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

○吉備国際大学への認知症理解啓発コーナーの設置  
7月下旬～8月末（予定）

○市役所市民ホール

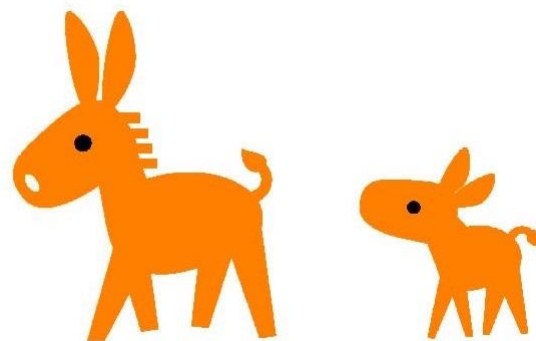
- ・ 9月20日（水）※認知症の日の前日  
イベント開催

（もの忘れ相談プログラム）

- ・ 展示コーナーの設置

○認知症フェア

- ・ 高梁市図書館・各図書館での開催



## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容①】

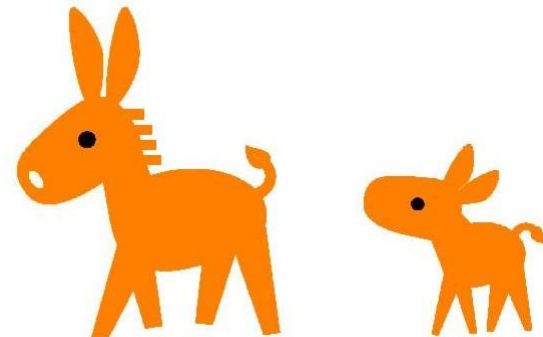
9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

- イズミ 9月5日(火)
- ポルカ 9月13日(水)

街頭啓発 10:00～11:00  
相談会 10:00～12:00

(もの忘れ相談プログラム)

展示コーナー設置予定



## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容①】

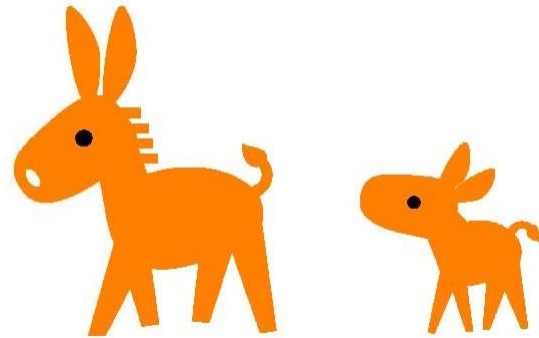
9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

### ○行政放送での認知症月間特集（予定）

第1週：9月4日（月）～9月10日（日）

第2週：9月11日（月）～9月17日（日）

内容：調整中





## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

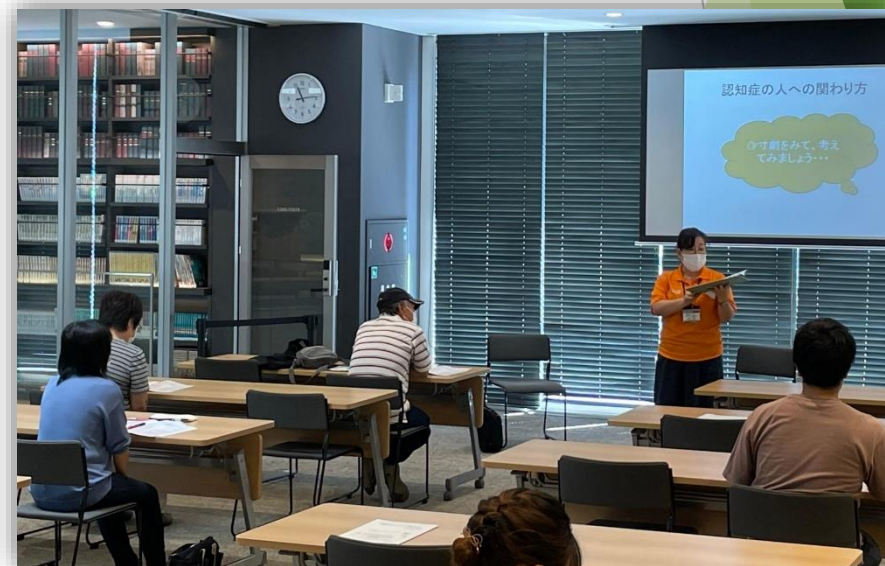
### 【取組内容①】

9月認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

### ○一般向け認知症サポーター養成講座

日時：9月28日（木）10：00～11：30

場所：高梁市図書館4階多目的室



## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

### 【取組内容②】

### 認知症ケアパスの普及と活用



### 【配付先】

医療機関（薬局含む）、居宅介護支援事業所、  
在宅介護支援センター、小規模多機能居宅介護、  
認知症カフェ、民生委員・主任児童委員、  
地域局・市民センター、第2層生活支援コーディネーター  
など

⇒本人や家族早めに気づき、必要時に適切な  
支援を受けることができるように  
広報と活用を行う

### 3. 認知症サポーターを中心とした本人・家族のニーズと支援をつなぐ仕組みの整備（チームオレンジの構築）

#### 【取組内容】

認知症サポーターステップアップ講座によるオレンジサポーターの育成

認知症サポーターステップアップ講座開催数

令和3年度 開催回数：3（認知症カフェ連絡会・有漢地区民生委員会・布瀬地区）

令和4年度 開催回数：3（認知症サポーター希望者・かわかみ茶坊・有漢地区）

## 令和5年度

**（認知症サポーター希望者・有漢地区・布瀬地区）※予定**

⇒各地区でのチームオレンジ立ち上げに向けて  
認知症サポーター・オレンジサポーターの育成を行う



サポーターの証



### 3. 認知症サポーターを中心とした本人家族のニーズと支援をつなぐ仕組みの整備（チームオレンジの構築）

#### チームオレンジたかはし

##### 「チーム布瀬のわ」



← 令和4年11月1日結成



← 「チームオレンジかわかみ」

令和5年3月3日結成

令和5年度  
チームオレンジ羽場（有漢）  
令和5年7月12日結成

⇒見守りの目や支援者が増えて、  
本人やその家族が安心して生活できる  
地域づくりを行っていく